

大寒も過ぎマンサク、ロウバイ、福寿草と春の訪れを感じさせてくれる花々が芽を出し始めています。

とは言え、今年は例年になく雪が多く、野山が一面銀世界になりました。

私にはそんな雪景色を見るたびにいつも脳裏に浮かぶ風景があります。越原小学校5年生のときの担任の先生は剣道の有段者で、5年生の男子だけ集めてこの厳寒の時に剣道の寒稽古を指導していただきました。当時、竹刀・防具などは全く無く、竹を切って持ち寄りの稽古でした。それは始業前にあり、雪が降った朝、夜明け前のまだ薄暗い誰も歩いていない道を自分の足跡をつけながら通ったことを思い出します。今思えば、その寒稽古を経験してから自分の体が強くなったような気がしており、雪景色を見るたびにそのことを思い出す自分があります。

さて、コロナウイルス感染症は11月頃より第5波が収まる兆しがあり平穏な年末年始を迎えられたと安堵していたのも束の間、人流が多くなることで危惧されていたとおり、1月中旬から全国的に変異したオミクロン株が広がり第6波へ突入してしまいました。

本村でも複数の感染事例が発生し、感染防止策を強化せざるを得ない状況になり、皆様には再度我慢の生活をしていただかなければならず御協力をお願いします。

また、このオミクロン株は感染力がデルタ株の3倍と言われ、今や誰がかかってもおかしくない状況です。感染された方や御家族、関係者の方への心無い誹謗中傷が無いようくれぐれもお願いいたします。

こうした中で令和4年の成人式が、滑り込みセーフの感じで実施できました。5年前に中学校の卒業式で見せたどこか幼い笑顔と重ね合わせながら、同級生や恩師と久しぶりの再会に喜ぶ姿や御家族に感謝する言葉、将来の夢を語る姿に接し、こちらも大いに勇気と喜びを貰いました。これからの人生において幾多の喜びや困難が待ち受けているかもしれませんが、負けることなく自分自身の夢を、そして心身の健康を大切にと心を込めて祝辞を贈りました。

まだまだ寒い日が続きます。一日も早いコロナ感染症の沈静化を願い、暖かい春の陽射しのもと外出できる日々を待ちわびることとします。

令和4年2月

東白川村長